

陳情文書表
(令和元年第3回定例会)

陳情第12号	令和元年8月1日受理
付託委員会	文教経済常任委員会
件名	BMX練習場（アクションスポーツ場）の設置に関する件
陳情要旨	<p>2020年の東京五輪で正式種目に決まりました自転車競技「BMX」ですが、千葉県内はもちろんのこと僕らが住む八千代市でもBMX愛好者が続々と増えてきています。全国的におよそ10万人の愛好者がいるといわれているこのスポーツは、ここ数年インラインスケートやスケートボードなどの「アクションスポーツ」のひとつとして若者を中心に人気が高まったり、また幼児を中心に人気があるペダルなしの二輪遊具（ランバイク）の卒業後にBMXを選択する子供も増え、その愛好者数は飛躍的に急増中です。</p> <p>発祥の地アメリカでは、ほぼすべての州に愛好者の為のBMXが利用できるスケートボードパークが設置され、学校の敷地に教育活動の一環として設置されたり、地域の青少年育成の為の大規模な公設パークを設置しているところもあります。また公立の公園内にも大小様々な規模の設備があり、子供から大人まで様々な年齢の愛好者たちの交流の場となり、地域の日常生活に溶け込んでいます。また、世界的にはすでに職業として成立しているプロBMXライダーも人数が増え、プロライダーとして生活できる環境も整っています。子供から大人まで健全なスポーツとして認知され、アメリカの小学校を対象とした「好きなスポーツ」アンケート調査では、人気ランキング上位に付けるスポーツになっています。</p> <p>さて、日本では全国の市町村、特に各市には公共施設としてのスケートボードパーク設置が急激に増えつつありますが、その規模や内容、数において、急増する愛好者にとっても対応できている状況ではありません。八千代市にも愛好者はいますが、練習する場所がなく、しかたなく公園内や歩道で練習する光景が多々見かけられます。すでに何年もこの状態は変わらないのですが、どこで練習しようとしても「歩行者の邪魔になる」、「音がうるさい」などと言われてのびのびと練習するどころか、追い出されてしまうことが多いです。また、一部の親御さんから「BMXのスクールはやっていませんか？」といった要望を多々受け、私は環境の整っている近隣のスケートパークで月一回無料のスクー</p>

陳情文書表
(令和元年第3回定例会)

ルを開催しています。しかしながら、場所が遠いことから参加できない八千代市の愛好者がいるのも現状です。

これからも増えていくと思われる愛好者に対する対応と、すでに何年も練習を重ねプロライダーになる目標がある愛好者、親子でBMXを楽しむ愛好者などが堂々と練習できる環境の整備を願い、今回陳情書を提出することに致しました。

スポーツを通じて青少年育成、地元住民のコミュニケーション場としての観点からもBMX練習場の設置を要望いたします。

記

- 1 子供から大人まで自由にのびのびとBMXを練習できる場所を八千代市内に作ってください。
- 2 設備などは様々な種類・形状がありますので、愛好者の意見を取り入れてください。
- 3 社会人の愛好者も多いので夜間でも練習できる環境にご配慮ください。
- 4 設備の設置後の環境において予想される問題点を事前に検討し、利用者の観点から見て魅力的な場所にしてください。
- 5 愛好者にとっては切実で緊急な要望でもありますので、早急に対応してください。